

【22\_083/技術系メルマガ】自分の【分析】工程を言語化できますか？

〇〇さん

こんにちは、クロガキ(クロ)です。

今回のメルマガは、今まであらゆる媒体の発信を色々と見てきた中で

僕が初心者だったころに「こういうことを教えてほしかったなあ」と思っていた内容を

僕なりの言葉で言語化してみようと思います。

タイトルの通りですが、トレードごとに【どんな手順で分析しているか？】についてです。

□  
└─┘ 自身の作業を『マニュアル化＝ルーティン化』する

常に『一貫したトレード』を出来るように・・・という提案をしていますが

チャートを見るたびに仕掛け方を考えている状態だと

その時の気分(体調)等によって、いつもと同じ動作が取れなくなったりするものです。

ですから僕は、なるべく一連の作業から「無駄な工程(不要な分析)」を省き

必要最低限のルーティン作業を決めることで

いつも『一定の分析・判断』をストレスなく行うように、仕組みを作っています。

僕やガッキーのトレードにおいては、先日送った解説映像でも言及したように

日足以上の中長期環境は【目線】を決めるための分析

H4足以下の比較的短期足のチャートにおいては【エントリーのセットアップ】を確認するための分析

それぞれ目的を分けて分業しています。

その点を踏まえて僕の【短期デイトレスタイル】のトレードでは

以下の要領で分析の工程をルーティン化しています。

<エントリー判断に至るまでの分析ルーティン(クロの場合)>

1. M15～M5足でのセットアップパターンを待つ

⇒主に、『MAの収縮』+『動き出しの第①波』確認と、損切位置の確定

▼参考:セットアップの待ち方と損切の設定方法▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1485137492634447874?s=20&t=zpsl2W38IY-9wUWZ3G9Umg>

▼損切の設定について(今日のツイートです 笑)▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1506860966319095808?s=20&t=zpsl2W38IY-9wUWZ3G9Umg>

2. 上位時間足(主にH1～日足。必要に応じて週・月足)のMA、水平線の位置関係から、エントリー方向に“邪魔者”がないかを確認(【目線】の再確認)

3. 指値でエントリーする場合はET/ TP/ SLを設定して終わり。

成り行きでエントリーする場合は、M5足以下のチャートパターン分解でストップ位置を決めて、パターンネックブレイクで入る

[参考:パターン分解する場合の損切移動]

[https://kuro-gaki.com/muhai\\_saisoku/others/2022-03-03\\_003.png](https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/others/2022-03-03_003.png)

エントリーまでの要点をまとめると、僕が毎行っている作業はこれくらいです。

パターンの認識や、損切位置の設定を都度考えながらやっていると、実際には非常に時間がかかってしまいますが

僕はその点を『ルール』として固定してしまっているので、ほぼ迷わずやります。

というか、どこかの工程で迷いが出たら、単純にそのトレードは『やらないほうがいい』ということです。

今、なかなか安定したトレードスタイルを確立できずに迷っている人は

エントリーのみならず、利確・損切といった出口の判断を裁量判断にゆだねすぎてしまい  
「都度難しい判断を迫られる」状態でトレードしている人が多いと感じます。

どこまで悩んでも、所詮トレードの結果自体は最終的に『不確実性』をはらむものです。

ですから、そこに在りもしない「確実性・確証」を求めようとせず

『いつも同じ判断軸』で出口戦略を固定する。

こうして”自分が判断しないといけない要素”を減らすルーティンを作ると

非常に 楽なトレード ができるようになります。

今回、このメルマガのために損切幅の『基準』の図解も作ってみましたので(上のツイートのことで  
す)

是非この機会に参考にしてみてくださいね。